



# 夢



大分大学教育学部  
附属特別支援学校  
進路指導部 附

Vol.2 R5.6.9発行

## 年度当初の各資料について

子どもたちの将来を考える時に、いろいろな情報を知っておくことが大切になります。年度当初に配布した資料をもとに、少しずつ進路について考える機会をもうけましょう。

**障がい者福祉のしおり** 令和5年4月 大分県

↑  
大分県の【障がい者福祉のしおり】のサイトのQRコード

**【社会資源ガイドブック】  
【事業所等見学について】**

大分市の福祉事業所情報を基に本校進路指導部が作成しています。事業所見学の希望は、早めにお知らせください。

**「社会資源ガイドブック」**

←大分市の【社会資源ガイドマップ】のサイトのQRコード

**進路ハンドブック**

**【現場実習ガイドブック】**

本校の進路指導部が作成して、現場実習について説明したものです。実習が近づきましたら資料としてご活用ください。高等部1年生に配布しました。

**現場実習ガイドブック** R5年度版

※【進路ハンドブック】【現場実習ガイドブック】をご覧になりたい方は、担任を通じて進路指導部にご連絡いただければ、印刷をして個別に配布させていただきます。

**【障がい者福祉のしおり】**  
大分県の福祉保健部障害福祉課が、福祉・雇用・医療・年金などの障がい福祉施策の概要を冊子にしたものです。

**【進路ハンドブック】**  
本校進路指導部が作成して、小学部から高等部までの本校の進路指導の流れや方針について説明したものです。小・中・高等部の1年生に配布しました。

## 【中学部】作業学習の紹介!!

作業学習は、作業活動を学習活動の中心にしながら、児童生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習します。

中学部の、学年別の『農耕・園芸』では、将来の職業生活に必要な「体力」や「自分から取り組む」「最後まで続ける」力が身につくようにしています。また、体力づくりにも、全身を使った土を入れる、種をまく、除草する、草を運ぶ、畝を立てるなどの粗大運動に取り組んでいます。

学部合同の『ものづくり作業』では、将来の職業生活や高等部での作業学習を考えて、中学部段階で、一定の場所で集中して取り組む経験を重ねることを目指しています。自分たちの作った製品ができあがった喜びを味わえること、身近な生活範囲でかわりがもてること、同じ活動の繰り返しの作業であることなどの視点から、作業種目を考えています。自分の作業の進み具合や結果を半製品や製品の数、出来具合などから、自分の作業の結果を視覚的に確かめたり、見直したりして、決まった仕方作業をする大切さなどを学習しています。また、複数の工程を分担し、流れ作業で行うことができるため、自分の役割を理解して、働く仲間と協力し合うこともできます。作業学習の現実性の大切さを身につけるとともに、働くことの意味や働くことの必要性を考えながら取り組んでいくようにしています。

**中3『農耕』**  
畑で野菜を育てて販売をしています!本校や幼稚園の保護者のみならず、お弁当に入れるからと言って附小・附中の生徒も買ってくれます!誠にありがとうございます!



**中2『園芸』**  
花壇に花々を植えたり、苗を育てて販売をしたりしています!

**『ものづくり作業』  
R4年度【裂き織コースター】  
【サコッシュ】  
R3年度【木製コースター】**



**中1『土づくり』**  
土に肥料を配合して、土をつくり、販売をしています!



**R2年度【マスク】**